

平成30年度多自然川づくり 近畿地方ブロック会議

大阪ふれあいの水辺
（自然再生ゾーン）
～地域と連携したエコアップ～

大阪府 西大阪治水事務所
水都再生課 山崎 誠

もくじ

1. 大阪ふれあいの水辺事業とは
2. 大阪ふれあいの水辺はどんなところ
3. 「自然再生ゾーン」の環境整備(エコアップ)
とは
4. 利活用と維持管理について
5. さいごに

1. 大阪ふれあいの水辺事業とは



大阪ふれあいの水辺事業

基本コンセプト

「人と水辺の絆の復活」
～心に響く都心のオアシス～

砂浜ゾーン

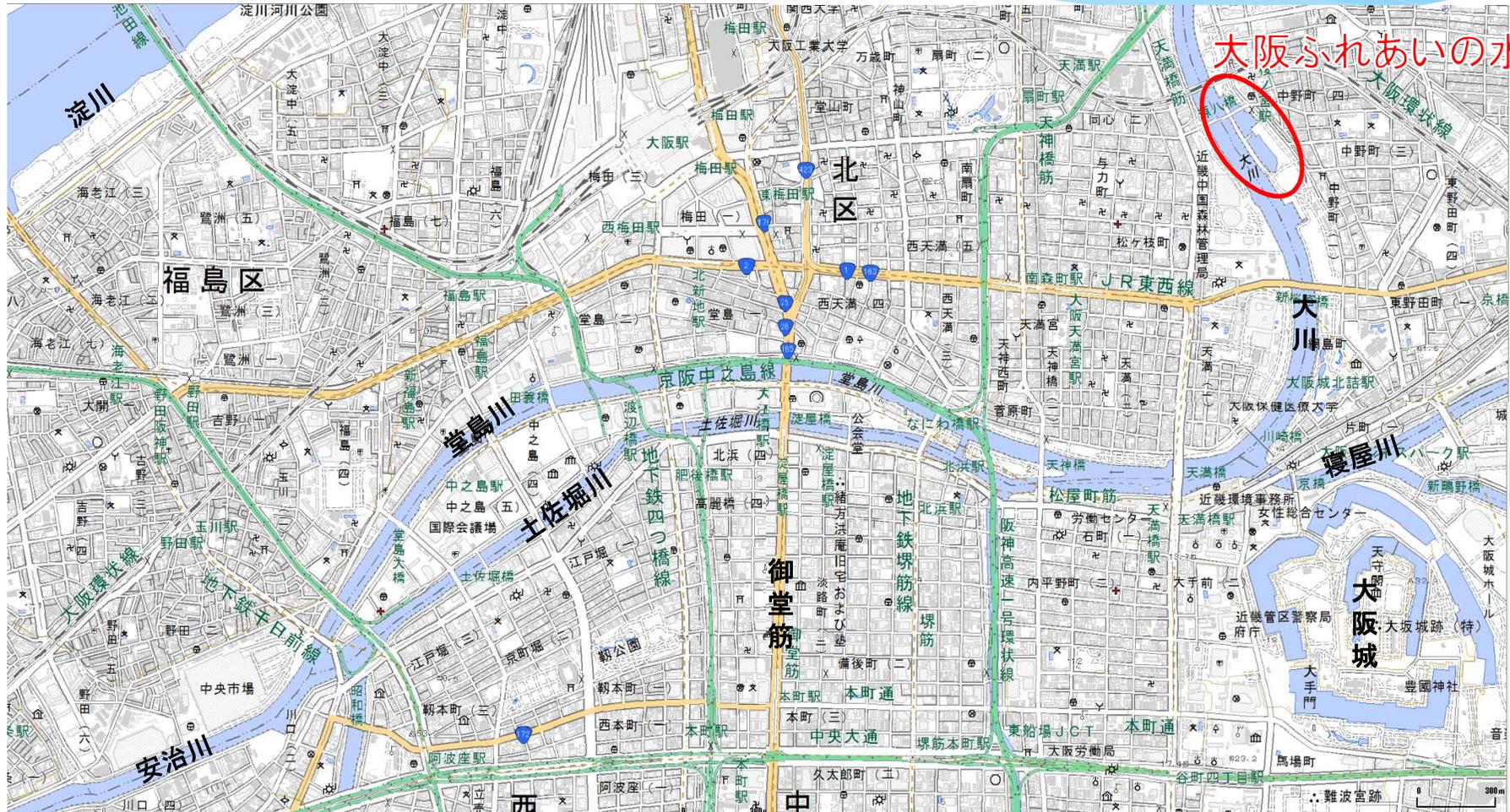
川に触れ、水辺でスポーツやくつろぎを感じる空間

自然再生ゾーン

水辺の動植物の観察など、自然を感じる空間

1 大阪ふれあいの水辺事業とは

事業箇所図



1 大阪ふれあいの水辺事業とは

6

貯木場

航空写真では昭和40年代後半まで貯木場利用されていた



毛馬桜ノ宮公園整備

航空写真では昭和50～54年ごろ整備されている



貯木場跡地やその周辺では、水難事故やブルーテントなどもあり、あまり良い環境というイメージではなかった。

1 大阪ふれあいの水辺事業とは

8



平成22年12月 砂浜ゾーン
工事着手
平成24年3月 本格オープン

現在では、「桜ノ宮ビーチ」の愛称で地元の皆様に親しまれる



1 大阪ふれあいの水辺事業とは

9



平成22年12月 砂浜ゾーン
工事着手
平成24年3月 本格オープン

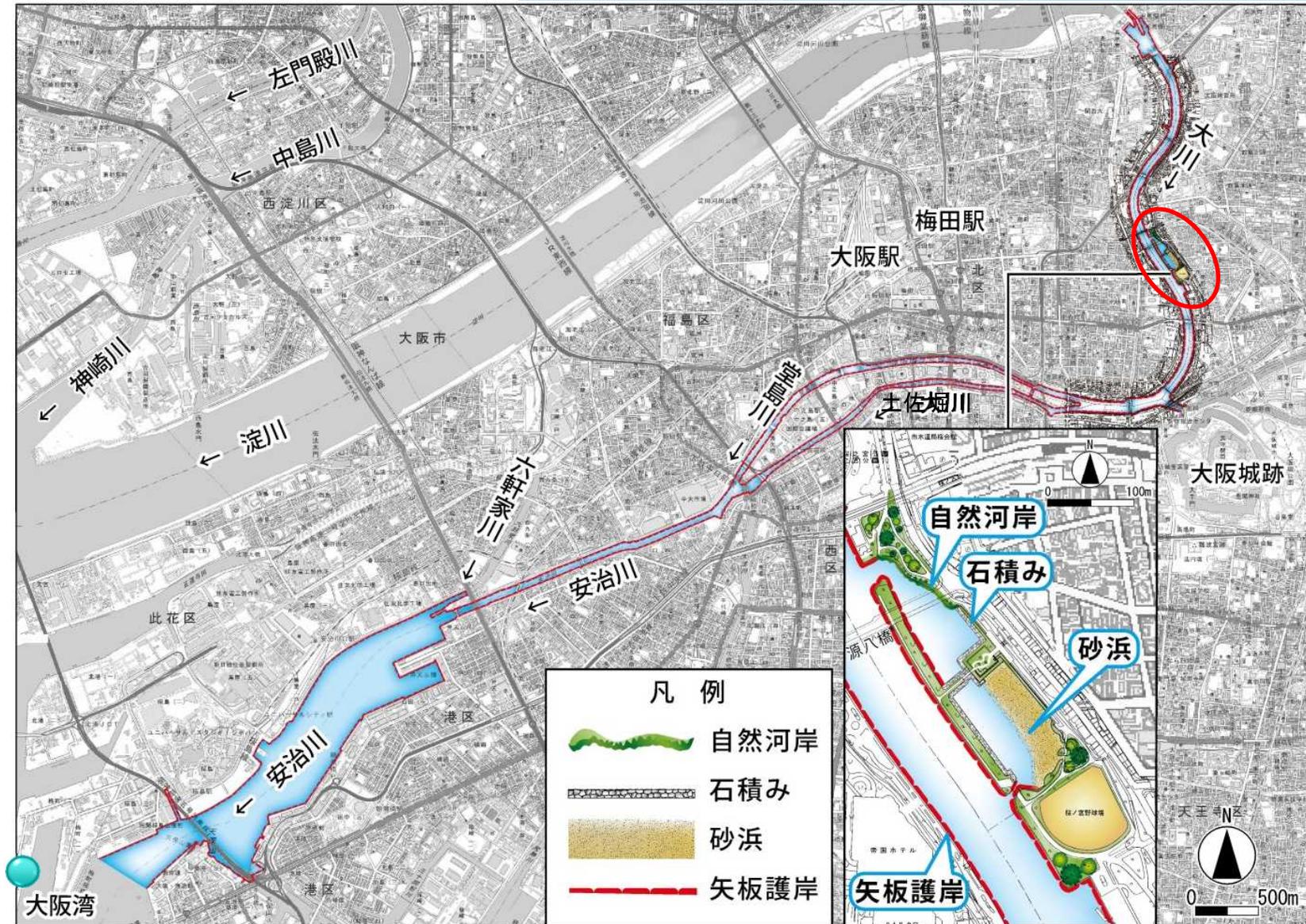
現在では、「桜ノ宮ビーチ」の愛称で地元の皆様に親しまれる

そして、平成30年1月

自然再生ゾーンを工事完了

2. 大阪ふれあいの水辺は どんなところ

2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【地形】から見た大阪ふれあいの水辺



2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【地形】から見た大阪ふれあいの水辺

12

大川（大阪ふれあいの水辺前）



堂島川（ほたるまち前）



2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ

13

【地形】から見た大阪ふれあいの水辺

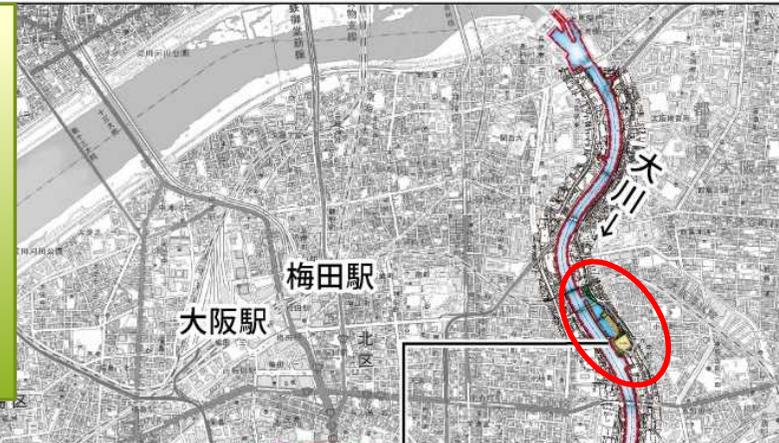
- 石積み、浅場（自然河岸）、砂浜等の多様な形状の水際が存在する **都心部で唯一の環境**
- 緩流域、感潮河川（低塩分）



2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【地形】から見た大阪ふれあいの水辺

14

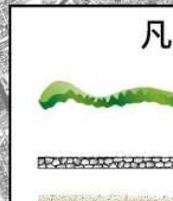
- 石積み、浅場（自然河岸）、砂浜等の多様な形状の水際が存在する **都心部で唯一の環境**
- 緩流域、感潮河川（低塩分）



干潮時



満潮時



砂浜
矢板護岸



2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【生物相】から見た大阪ふれあいの水辺

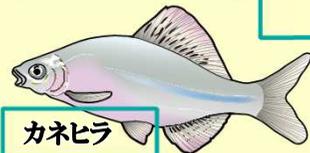
15

『大阪ふれあいの水辺』の魚類相のまとめ

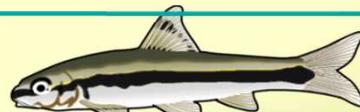
- 純淡水魚が全体の約7割を占める
- 汽水・海水魚、回遊魚が生息（海域との連続性）
- 河川の中～下流域の魚類相（城北ワンド群との共通種が多い）
- 二枚貝との共生関係にある カネヒラ、カワヒガイが生息
- 『大川』（大川本流）より 確認種数が多い

川の魚

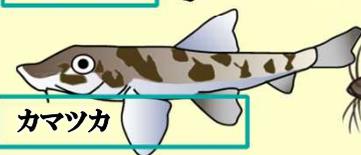
- この他に、
・ ヌイ ・ オイカワ ・ ギンブナ ・ ヨシノボリ類
・ コウライモロコ など



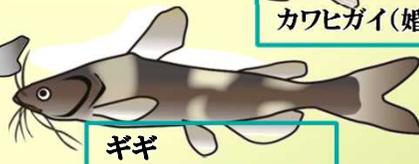
カネヒラ



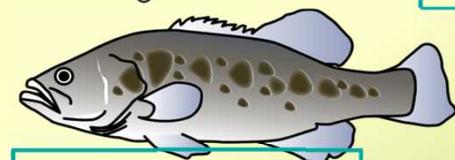
カワヒガイ(婚姻色)



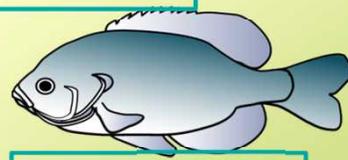
カマツカ



ギギ



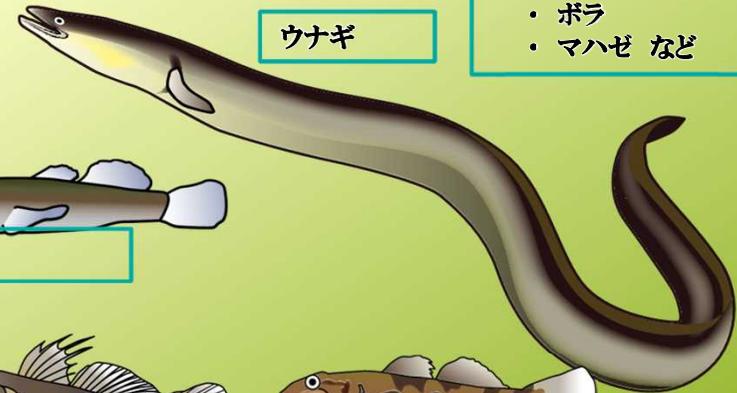
オオクチバス(外来種)



ブルーギル(外来種)

海と川を行き来する魚

- この他に、
・ スズキ
・ ボラ
・ マハゼ など



ウナギ



ウキゴリ



ヌマチチブ



ゴクラクハゼ

2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【生物相】から見た大阪ふれあいの水辺

16

■ 『大阪ふれあいの水辺』の底生動物相のまとめ

● 河川の中～下流域の底生動物相

● クロベンケイガニが多く生息

・各年度、およそ 1,000個体の生息を確認

・稚ガニ（甲幅1cm以下）はおよそ5%（H28実績）

■ クロベンケイガニ



護岸の隙間は、隠れ場所



2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【生物相】から見た大阪ふれあいの水辺

17

■『大阪ふれあいの水辺』の鳥類相のまとめ

- 水辺がある都市公園の一般的な鳥類相
- 水鳥は、カモ類、サギ類、セキレイ類、ユリカモメ等が生息
- 重要種のイソシギは、ほぼ毎年生息を確認

水辺の鳥



■『大阪ふれあいの水辺』の植物のまとめ

- 植栽種、外来種主体の植物相
 - ・植栽種、外来種が 全確認種の約 1/2を占める
- 植栽樹木群が広く分布する植生
 - ・ほぼ全域に メタセコイヤ、クスノキ、ソメイヨシノ等が植栽

3. 「自然再生ゾーン」の 環境整備とは

③ 自然再生ゾーン的环境整備とは

19

【計画・設計】

- ① 住民参加型ワークショップ開始 (H22. 11)
- ② WSによる整備構想策定 (H26. 3)
- ③ WSメンバーの学識経験者を中心した環境評価チームにより、環境調査結果の評価と整備構想ブラッシュアップ (H29. 2)



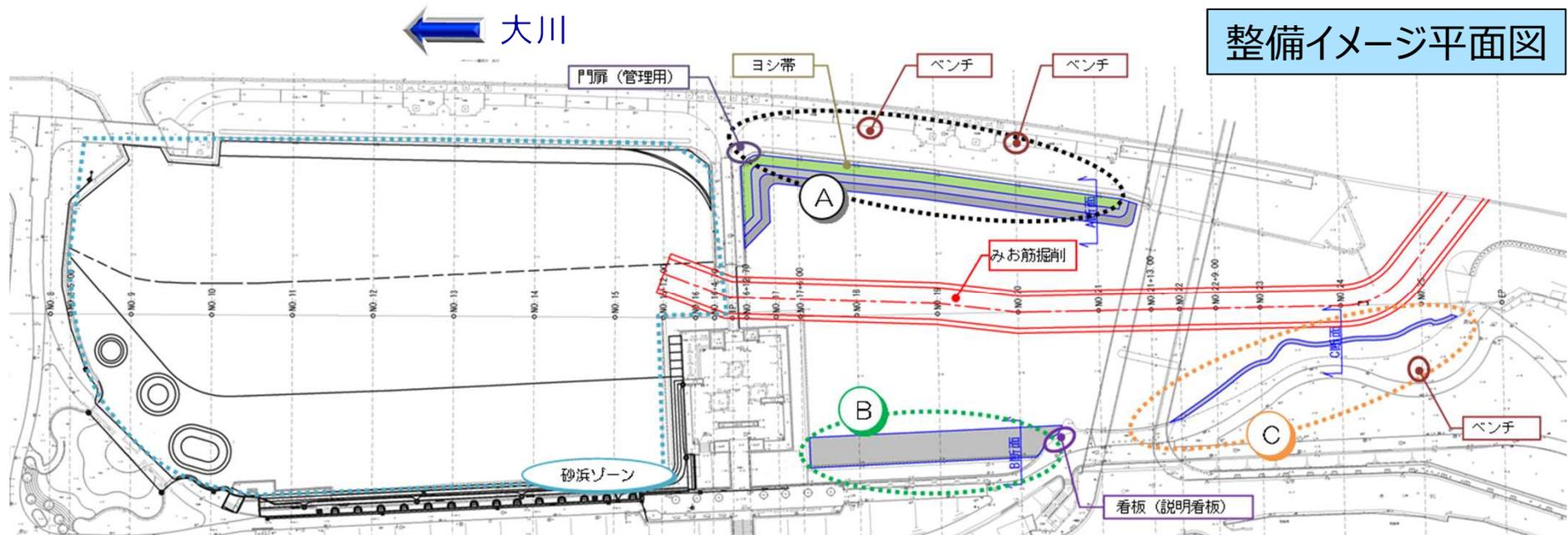
第13回ワークショップの様子



第15回ワークショップの様子

整備方針

- 生き物を守る
 - 現況を大きく改変しない整備、現在生息する種への影響が少ない施工方法を選定する
 - 河岸に生育するヨシ等の抽水植物帯を整備し、新たな環境を形成し、生物の多様性を図る
- やわらかく育てる
 - コンクリートを極力使用せず、屈撓性がある構造のもので整備し、改良しやすい構造とする
- 生き物とのふれあい
 - ベンチや進入施設及び看板を設け、環境学習に利用できる場を形成する



整備イメージ平面図

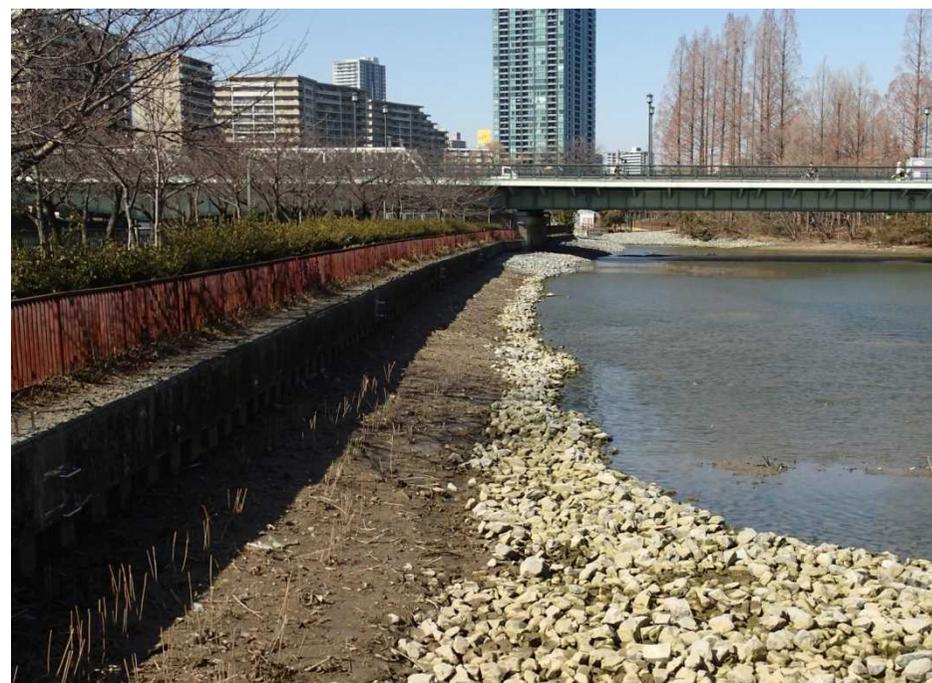
Aゾーン

ヨシ植栽による水生生物の生息場の保全、景観向上

整備前

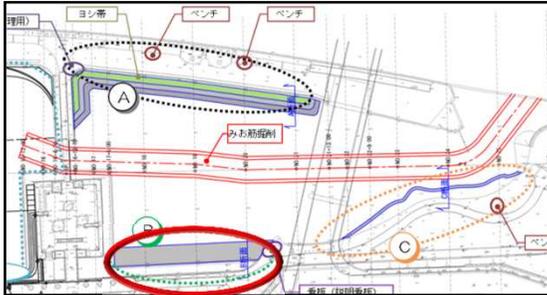


整備後

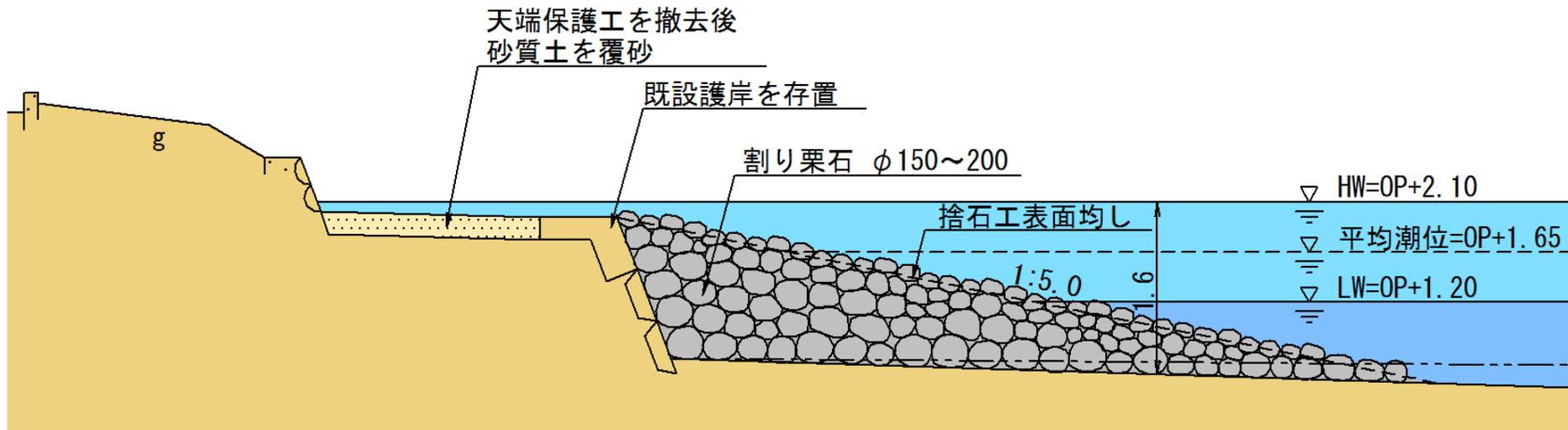


Bゾーン

クロベンケイガニ生息場のエコアップ（稚ガニ遡上）



- 既設護岸を残置（クロベンケイガニが護岸隙間に生息）
- 護岸から緩勾配 1:5.0 で捨石敷設
- 護岸天端のコンクリート撤去、砂質土に置き換え



Bゾーン

クロベンケイガニ生息場のエコアップ（稚ガニ遡上）

整備前

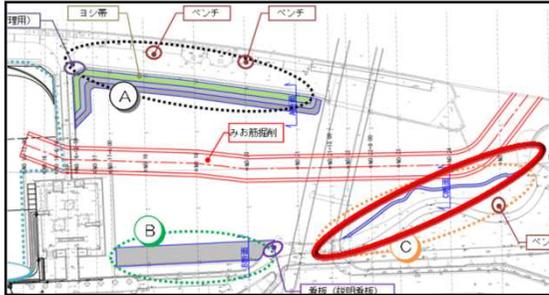


整備後

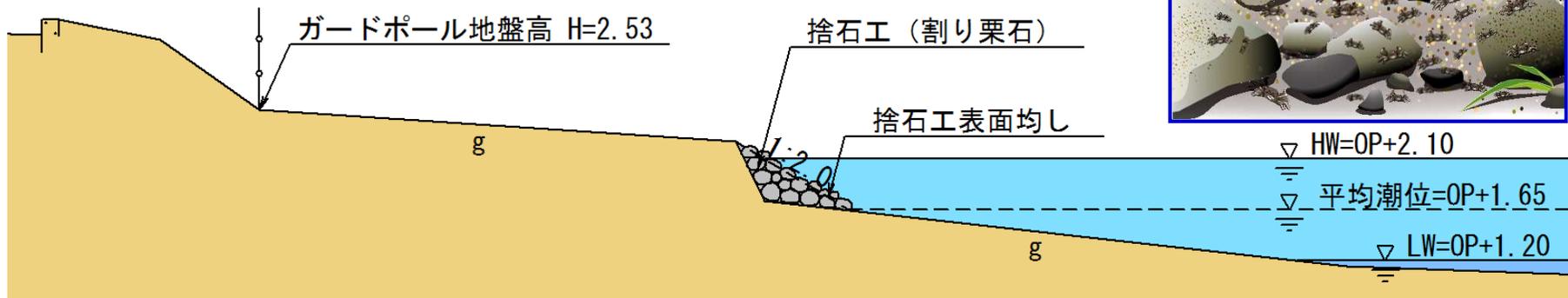


Cゾーン

自然河岸の保全（浸食防止）
生物の生息場・水際環境の連続性の保全



- ・ 自然河岸が残存 → 現況の環境を保全
- ・ 捨石 (1 : 2.0 勾配) による河岸保護



Cゾーン

自然河岸の保全（浸食防止）
生物の生息場・水際環境の連続性の保全



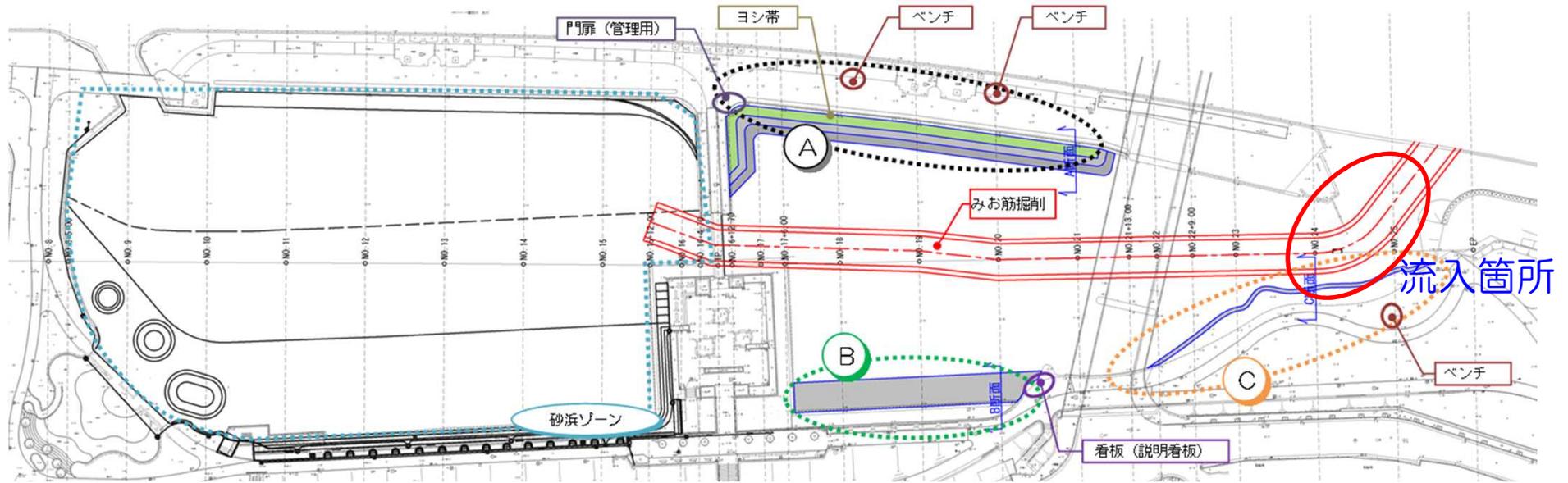
Cゾーン

自然河岸の保全（浸食防止）
生物の生息場・水際環境の連続性の保全



みお筋掘削

流れの形成によるヘドロ堆積・水草繁茂の抑制

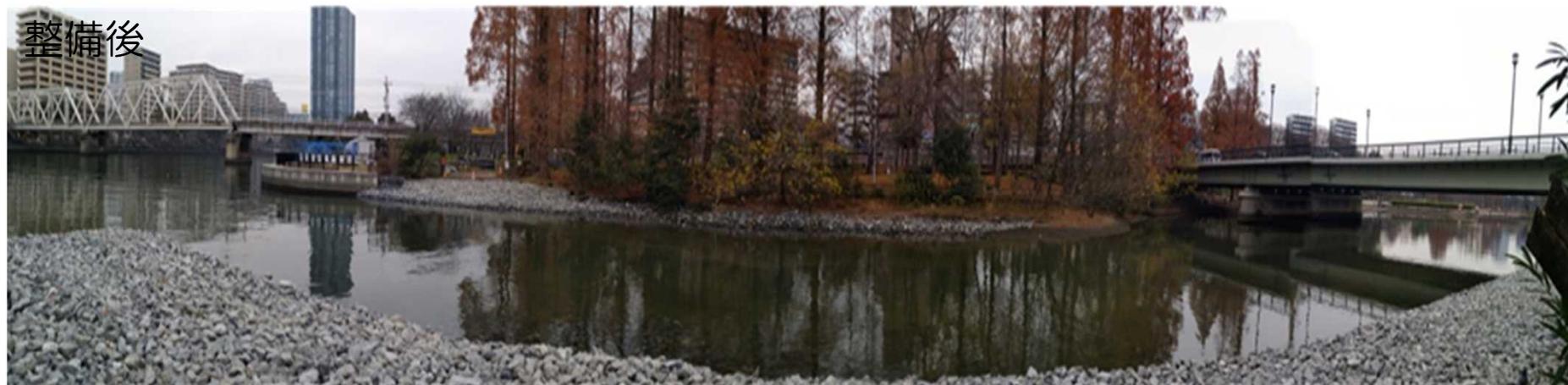


みお筋掘削

整備前

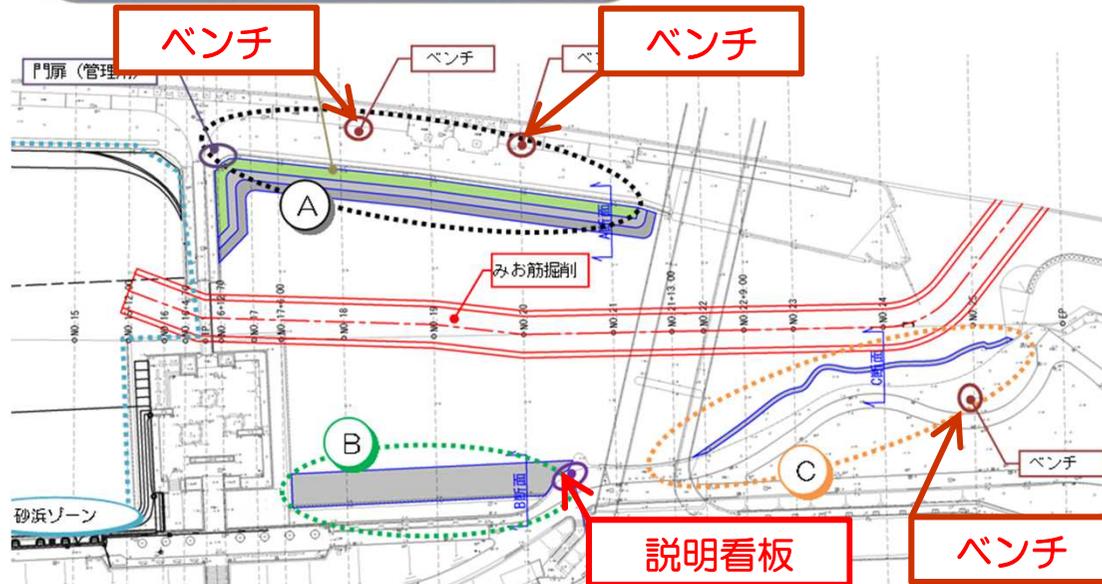


整備後



その他付属施設

説明用看板・観察用ベンチ・管理用門扉



4. 利活用と 維持管理について



地域(学校)との連携作業を通じ、
維持管理体制を構築

大阪市立東高等学校
大阪eco動物海洋専門学校

「利用に関する覚書」を締結
(H29.11)



○環境学習
生物・植物調査、植生実験

○美観維持活動
清掃や除草、花栽培

大阪市立東高等学校の環境活動(カキツバタ植栽)

①カキツバタ苗を採取



②堆肥を混合



③植え付け



④植え付け完了



大阪市立東高等学校の環境活動(カキツバタ植栽)



大阪ECO動物海洋専門学校環境活動 (地引網で生物調査H30. 5. 26)



大阪ECO動物海洋専門学校環境活動 (地引網で生物調査H30. 5. 26)

地引き網で生物調査本番



アユ	14匹	カマツカ	1匹
オイカワ	14匹	シロヒレタビラ	1匹
コウライモロコ	39匹	ゲンゴロウブナ	1匹
コウライニゴイ	2匹	スズキ	19匹
カワヒガイ	5匹	オオクチバス	1匹

計 10種 97個体

5. さいごに

○住民参加型ワークショップで進めてきた結果

みんなで学び(歴史・環境)
みんなで考え(保全方法・景観)
みんなで実現(工事・協働)



環境保全の担い手を獲得
「利用に関する覚書」を締結

○今後は・・・

大阪ふれあいの水辺全体の利活用を促進

- 地域の小・中学校へPR
- 両ゾーンの利用者と連携した地域参加型イベント開催

地域の更なる大阪ふれあいの水辺ファン獲得を目指す

ご清聴ありがとうございました

A scenic view of a park with cherry blossoms, a lake, and a city skyline in the background. The foreground shows a rocky shoreline next to a calm body of water. In the middle ground, there are several cherry blossom trees in full bloom, and a paved path runs along the water's edge. In the background, a city skyline with several tall buildings is visible under a clear blue sky. The text "ご清聴ありがとうございました" is overlaid in the center of the image.